

にしきで おおがた み き へい  
錦手大形神酒瓶

●所在地／稲荷本村 伊豫稲荷神社 ●所有者／伊豫稲荷神社

いとう ごしょうさい  
伊藤五松斎の作品中の逸品である。

五松斎（1832～1910）は尾崎おさきの庄屋であるが三島町みしまちで焼き物の製作を始めた。意にかなった焼き物ができなかったので、砥部とべへ行って研究し苦心の末焼き上げたもので、砥部焼の錦手（赤・緑・黄・紫・青などの上絵具を施した陶磁器のこと）の手法を使っている。

